

2017 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。なお、解答に当たっては、適宜、記述解答用紙またはマーク解答用紙を用いなさい。(30点)

奈良時代には、中央集権的な国家体制が整って富が中央に集められ、平城京を中心①として高度な貴族文化が花開いた。この時代の文化は、遣唐使などからもたらされる唐の文化の影響を強く受けた国際色豊かな文化であった。貴族や官人には漢詩文の教養が必要とされ、751年には現存する最古の漢詩集『 1 』が編まれた。また、日本古来の和歌も、天皇から民衆に至るまで多くの人々によってよまれた。770年頃に成立した『 2 』は、759年までの和歌約4500首を収録しており、歌風は素朴で力強い。

平安遷都から9世紀末頃まで、平安京において貴族を中心とした文化が発展した。文芸を中心として国家の隆盛をめざす思想が広まり、宮廷では漢文学が発展した。貴族は、教養として漢詩文をつくることが重視され、漢文学がさかんになり、漢字文化に習熟して漢文をみずからのものとして使いこなすようになった。勅撰漢詩文集が撰定・編纂されるようになり、嵯峨天皇の命により814年には『 3 』が成立した。また、空海の弟子の真済は、空海の詩・碑銘・書簡を詩文集『 4 』として編集した。

9世紀後半から10世紀以降には、貴族社会を中心に、それまで受け入れられてきた大陸文化を踏まえ、これに日本人の人情・嗜好を加味し、さらに日本の風土にあうように工夫した、優雅で洗練された文化が生まれてきた。かな文字が広く使用されるようになり、人々の感情や感覚を、日本語で生き生きと伝えることが可能になり、数多くの文学作品が生まれた。例えば、905年には、醍醐天皇の命により紀貫之などによって最初の勅撰和歌集が編集された。③かな物語では、求婚難題説話や羽衣説話などの伝説を題材にした『 5 』、在原業平の恋愛談を中心とする『 6 』、継子いじめを題材とする『 7 』、左大将の娘貴宮をめぐる結婚談である『 8 』、藤原道長の栄華を賛美する『 9 』などが生まれた。日記・随筆として、紀貫之による紀行文『 10 』、藤原道綱の母による自叙伝風の『 11 』、菅原孝標の女による一生の回想録『 12 』などが生まれた。

問1 空欄 ～ に入るもっとも適切な語句を〈語群〉から1つ選び、その記号をマークしなさい。

〈語群〉

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| ア 竹取物語 | イ 栄華物語 | ウ 源氏物語 |
| エ 万葉集 | オ 凌雲集 | カ 遍照發揮性靈集 |
| キ 文華秀麗集 | ク 土佐日記 | ケ 更級日記 |
| コ 蜻蛉日記 | サ 懷風藻 | シ 枕草子 |
| ス 宇津保物語 | セ 落窪物語 | ソ 伊勢物語 |
| タ 文鏡秘府論 | チ 経国集 | ツ 菅家文草 |
| テ 和漢朗詠集 | ト 日本靈異記 | |

問2 下線部①に、天武天皇の時代に始められた国史編纂作業が完成した。稗田阿礼がよみならっていた神話・歴史を太安万侶が筆録し、712年に完成した歴史書の名称を漢字で解答欄に記入しなさい。

問3 下線部②の時代には、書道は優美な線を表わした和様が発達し、三跡と呼ばれる名手が現われた。三跡の一人、藤原佐理が大宰大貳となり赴任する途中、京都の親戚に宛てて書いた書状の名称を漢字で解答欄に記入しなさい。

問4 下線部③の和歌集に始まる八代集の最後で、1205年に、後鳥羽上皇の命により、藤原定家・家隆などが撰集した勅撰和歌集の名称を漢字で解答欄に記入しなさい。

II 次の文章とあとに続く史料〔A〕～〔D〕を読み、下記の設問に答えなさい。なお、解答に当たっては、適宜、記述解答用紙またはマーク解答用紙を用いなさい。(30点)

江戸時代における商品生産の発展は、一面では、幕府財政立て直しの可能性をもたらした。18世紀後半には、老中 1 が、民間の経済活動を活発にさせ、その富の一部を財源に取り込もうとした。そのために株仲間を広く公認し、引き換えに営業税の増収を目指した。また、大坂の大商人などの資金を積極的に活用して、下総の 2 沼や印旛沼の新田開発に取り組んだ。

商品生産の発展は、他面では、農村に大きな変化をもたらした。幕藩体制を支えた農村は、3 に登録された高請地としての田・畑や家屋敷を所持する本百姓を中心的な構成員としていた。農村は、名主(庄屋・肝煎)・組頭・4 からなる村方三役を中心とする本百姓によって運営された。この本百姓が、商品生産の発展に伴って、次第に豪農と貧農や小作人へと分解していった。すなわち、豪農は、商品生産や流通の中心となるとともに、質流れによって村の内外から田畑を取得し、その田畑を小作人に貸し付けて、彼らから小作料をとる地主となった。田畑を失った百姓のなかには、江戸や近隣の都市部に流出するものも多くなった。

さらに、度重なる飢饉もあいまって、農村人口が減少し農村は荒廃していった。こうしたことを背景に、百姓一揆が頻発し、都市でも激しい打ちこわしが発生するようになった。

こうして幕藩体制は大きな動揺を迎えたが、幕府は、史料〔A〕～〔D〕などの政策によってその立て直しを図ろうと試みた。

史料

〔A〕 「…享保の御例を以て上納米も仰せ付らるべく候得共、当時不如意多の儀、且凶作等にて難波の砌も候得ば、御沙汰に及ばれず候。然しながら広大の御備の儀ニ候得ば、当時の御儉約のミを以て、其手当ニ仰せ付けらるべき様も之無く候間、高壺万石ニ付五十石の割合を以て、来戊年より寅年迄五ヶ年の間、面々領邑ニ困穀いたし候様に仰せ出され候。」

〔B〕 「在方より当地え出居候者、故郷え立帰度存じ候得共、路用金調難く候か、立帰候ても夫食、農具代など差支候ものは、町役人差添願出づべく候。吟味の上夫々御手下さるべく候。」

〔C〕 「近年御府内江入り込み、裏店等借請居り候者の内ニハ妻子等も之無く、一期住み同様のものも之有るべし。左様の類ハ早々村方江呼戻し申すべき事。」

〔D〕 「菱垣廻船積問屋 共

其方共儀是迄年々金壹万貳百兩冥加上納致来候処、問屋共不正之趣に相聞候に付、以来上納に及ばず候。尤も向後仲間株札は勿論、此外共都て問屋仲間並組合などと唱候儀は相成らず候。」

問1 空欄 ～ に入るもっとも適切な語句、人名を、漢字で解答欄に記入しなさい。ただし、 には、江戸における独占的な問屋商仲間の名称が入る。

問2 下線部①としてもっとも適切な語句を、史料〔A〕～〔D〕のなかから一語を抜き出して解答欄に記入しなさい。

問3 下線部②に関連して、商品作物の栽培と加工による農家や国の利益を論じた『広益国産考』を著した著者は誰か。その人名を解答欄に記入しなさい。

問4 下線部③について、豪農や在郷商人が生産者に原材料や道具を前貸しし、その製品を引き取る工業のことを何と呼ぶか。もっとも適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問5 下線部④について述べた説明としてもっとも適切なものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 中世には、惣村の農民が全員で耕作を放棄して他領などに逃げ込む逃散が発生し、17世紀のはじめにもこうしたなごりが見られた。

イ 中世には、惣村の農民が都市民や困窮した武士とともに、棄捐令を求めて札差などを襲う一揆が頻繁に生じた。

ウ 17世紀後半からは大規模な惣百姓一揆が増え、17世紀末になると代表者が百姓全体の要求をまとめて領主に直訴する代表越訴型一揆が次第に増えていった。

エ 18世紀の代表越訴型一揆での下総の佐倉惣五郎、上野の礪茂左衛門のように、一揆の代表者が義民として伝承される場合もあった。

オ 開国に伴う物価上昇などを背景に世直し一揆が多発するようになり、とくに天保年間には、その件数が江戸時代中で最大のものとなった。

問6 史料〔A〕の政策のことを何と呼ぶか。もっとも適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問7 史料〔A〕の下線部⑤とは何を指すか。もっとも適切なものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 足高 イ 上げ米 ウ 定免法 エ 新田開発

オ 堂島米市場公認

問8 史料〔A〕の下線部⑥が指す飢饉の説明としてもっとも適切なものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア この飢饉は、18世紀前半、うんかの大発生などによる西日本一帯の凶作から引き起こされ、それは米価を高騰させ、翌年、江戸でも米問屋が打ちこわされた。

イ この飢饉は、18世紀後半の東北地方の冷害から始まった凶作に浅間山の大噴火も加わり、東北地方の農村を中心に多数の餓死者を出す大飢饉となった。このため百姓一揆が多発し、江戸・大坂をはじめとする各地の都市で、激しい打ちこわしがおこった。

ウ この飢饉は、1830年代に続いた凶作・飢饉であって、百姓一揆や打ちこわしが1年間に100件をこえた。

エ この飢饉は、19世紀前半に生じたとくに深刻なもので、甲斐の郡内騒動では約1万人が蜂起して甲府盆地全域の打ちこわしに発展し、三河の加茂一揆では約1万2000人が蜂起した。

オ この飢饉は、これに乗じて米を買い占める富商や、幕府の腐敗、大坂町奉行所による江戸への米回送への怒りを呼び、大坂町奉行所与力の陽明学者が武装蜂起した。

問9 史料〔B〕と〔C〕の説明としてもっとも適切なものをそれぞれ1つずつ選び、その記号をマークしなさい。

ア 関東八カ国での無宿人や博徒の逮捕・取締りを行った。

イ 関東の農村で寄場組合をつくらせ、農村秩序の維持を図った。

ウ 江戸に流入した貧民などの帰郷を強制した。

エ 江戸の人足寄場に無宿人を収容し、職業技術を身につけさせた。

オ 江戸に流入した農民の帰村や帰農を奨励した。

問10 史料〔D〕の政策にもっとも関係の深い人物を1人選び、その記号をマークしなさい。

ア 徳川吉宗 イ 徳川家治 ウ 松平定信 エ 徳川家斉

オ 水野忠邦

Ⅲ 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。なお、解答に当たっては、適宜、記述解答用紙またはマーク解答用紙を用いなさい。(20点)

沖縄は日本の歴史において独自の位置を占めている。沖縄諸島に琉球王国が成立したのは 年である。琉球王国は、徳川幕府の承認のもとに出兵した薩摩藩によって1609年に征服され、薩摩藩の支配下におかれた。だが、他方で、幕府は従来通り琉球王国の王位を認め、名目上独立した王国として中国との冊封関係を維持し、朝貢貿易を継続することを許した。琉球王国は、幕府との関係では、将軍の代がわりに際して慶賀使を送り、琉球王国の国王の代がわりに際して を送った。

明治政府は琉球を日本の領土とする方針を固め、 年に琉球王国の廃止、沖縄県の設置を決め、琉球を中央集権的な国家体制のなかに組み入れた。明治政府のこの政策対応は と呼ばれている。だが、琉球王国と冊封関係にあった清国はこれを認めず、琉球の日本への帰属が確定したのは日清戦争後のことであった。

第二次世界大戦の最終局面で日本国内唯一の地上戦が戦われた沖縄県では、日本軍が持久戦をめざしたこともあり、一般市民を含む多大な犠牲者が生まれた。日本を事実上単独占領した米国は、日本本土を間接統治したが、琉球諸島・奄美諸島を含む 諸島ならびに小笠原諸島は直接米国の施政権下においた。沖縄返還協定によって、 年に沖縄の本土復帰が実現することになったが、占領期以来の広大な米軍基地はそのまま存続させられた。

日本の北方地域である蝦夷地には先住民族であるアイヌが長年にわたって住んでいた。近世には和人の進出が進んだが、1604年に徳川家康は道南部の和人地を支配していた 氏に藩政を担わせ、アイヌとの交易権を独占させた。蝦夷地の特産品の交易による収入を目当てに進出する和人商人や 藩とアイヌとの対立は、1669年のシャクシャインの戦いでアイヌの全面的な敗北で決着した。

大国ロシアの北方地域への進出を恐れていた徳川幕府は、1792年のロシア使節 の根室への来航に驚き、この地域の境界線を明確にするために、1798年に近藤重蔵・最上徳内らに 島の探索を、また1808年に間宮林蔵に とその対岸の探索を命じた。

明治時代に入り、北方地域での国境線は、1875年の日本とロシアとの

と千島を交換する条約にもとづき国際的に確定した。だが、サンフランシスコ講和条約で、日本が千島列島に対するすべての権利、請求権を放棄したことから、現在に至るいわゆる北方領土問題の火種が残った。

問1 空欄 ～ に入るもっとも適切な語句、人名、地名を解答欄に記入しなさい。

問2 空欄 に入る西暦を1つ選び、その記号をマークしなさい。
ア 929 イ 1274 ウ 1388 エ 1429 オ 1592

問3 空欄 に入る西暦を1つ選び、その記号をマークしなさい。
ア 1869 イ 1872 ウ 1879 エ 1881 オ 1889

問4 空欄 に入る西暦を1つ選び、その記号をマークしなさい。
ア 1945 イ 1951 ウ 1969 エ 1971 オ 1972

IV 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。なお、解答に当たっては、適宜、記述解答用紙またはマーク解答用紙を用いなさい。(20点)

日本の戦後は、敗戦^①によるGHQの統治から始まった。財閥や寄生地主制に象徴される戦前の日本社会が、軍事かつ非民主的であったことが戦争を招いた、との考えから、それらの解体が重要な課題とされたのである。いわゆる3大民主化政策といわれる財閥解体^②、農地改革^③、労働の民主化^④をはじめとした諸改革が次々と実施された。

1947年、政府は、資源を石炭・鉄鋼などの重要な基礎産業部門に集中的に投下する傾斜生産方式^⑤を採用した。基幹産業への資金供給は復興金融金庫^⑥が大きな役割を果たした。

ところが、米ソ対立が鮮明になると、占領政策の目的も「非軍事化」から「経済復興」に転換した。この転換を具体化したものの1つが経済安定九原則であり、この政策を実行するために来日したのが、ジョセフ・ドッジ^⑦であった。

彼の一連の政策は、国民生活を苦しめてきたインフレを収束させたが、他方で深刻な不況をもたらすこととなった。だが、その最中に勃発した朝鮮戦争は、日本経済に特需景気をもたらし、日本経済は息を吹き返すこととなった。

敗戦から10年、焼け野原からの復興は急速に進み^⑧、日本経済は高度経済成長期を迎えることとなる。

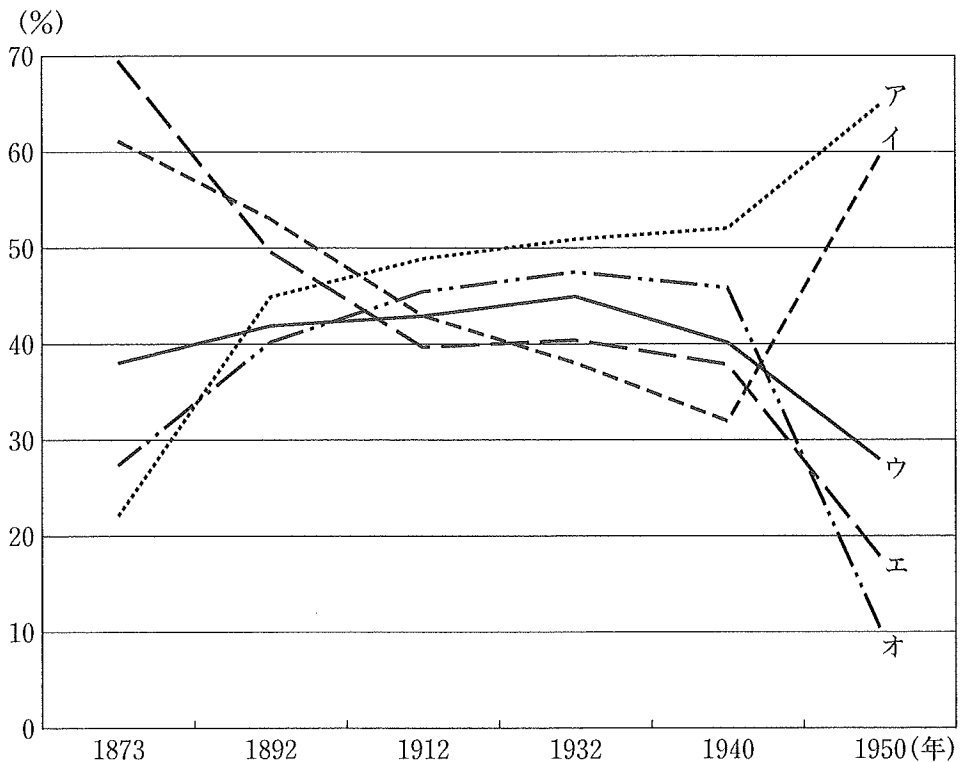
問1 下線部①に関連して、ポツダム宣言受諾時の内閣はどれか。該当する内閣の記号を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 小磯国昭内閣
- イ 幣原喜重郎内閣
- ウ 鈴木貫太郎内閣
- エ 東条英機内閣
- オ 東久邇宮稔彦内閣

問2 下線部②について、1945年11月、GHQの指令で、三井・三菱・住友・安田など、資産凍結・解体の対象となった財閥数としてもっとも適切なものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 6
- イ 10
- ウ 11
- エ 15
- オ 325

問3 下線部③に関連して、次の図にあるア～オのうち、1873年から1950年までの小作地率（北海道を除く全国）の推移を正しく示しているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。



出所) 三和良一・原朗編『近現代日本経済史要覧』より作成。

問4 下線部④に関連して、労働三法といわれる、1945年から1947年にかけて制定された3つの法律をすべて解答欄に記入しなさい。

問5 下線部⑤をはじめとした経済政策の企画・立案をおこなう経済行政官庁として、1946年8月に設置された官庁の名称を解答欄に記入しなさい。

問6 下線部⑥は、1952年に、ある金融機関に貸出残高を引き継ぎ、解散した。ある金融機関とはどれか。該当する金融機関の記号を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 第一銀行
- イ 日本銀行
- ウ 日本開発銀行
- エ 日本輸出入銀行
- オ 横浜正金銀行

問7 下線部⑦が来日する際に、アメリカで務めていた役職はどれか。該当する役職の記号を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア アメリカ合衆国財務長官
- イ アメリカ合衆国陸軍元帥
- ウ コロンビア大学教授
- エ デトロイト銀行頭取
- オ 連合対日理事会議長

問8 下線部⑧に関連して、以下の史料は1956年度における『経済白書』の一節である。史料中の

a

 に入る文を、解答欄に記入しなさい。

史料

戦後日本経済の回復の速かさには誠に万人の意表外にでるものがあつた。それは日本国民の勤勉な努力によつて培われ、世界情勢の好都合な発展によつて育く

まれた。

しかし敗戦によつて落ち込んだ谷が深かつたという事実そのものが、その谷からはい上るスピードを速からしめたという事情も忘れることはできない。(中略) いまや経済の回復による浮揚力はほぼ使い尽された。なるほど、貧乏な日本のこと故、世界の他の国々に比べれば、消費や投資の潜在需要はまだ高いかもしれないが、戦後の一時期に比べれば、その欲望の熾烈さは明かに減少した。

a

 われわれはいまや異つた事態に当面しようとしている。回復を通じての成長は終つた。今後の成長は近代化によつて支えられる。そして近代化の進歩も速かにしてかつ安定的な経済の成長によつて初めて可能となるのである。